

特別伝道集会のご案内

4月22日(土) 午後 2:00 ~
午後 7:30 ~
23日(日) 午前 10:30 ~
午後 7:30 ~
24日(月) 午前 10:30 ~

場所：長岡キリスト恵み教会
長岡京市長岡 1丁目 2-6
Tel/Fax 075-955-4582
http://megumi-church.com/nagaoka
講師：前田 大度師
(横浜恵みキリスト教会)

※すべて無料です。託児の用意もあります。お気軽にお越し下さい。



定例集会

日曜日			
日曜学校	午前	9:00 ~	
礼拝	午前	10:30 ~	
中高生クラス	午後	2:00 ~	
聖書の学び会	午後	6:00 ~	
水曜日			
婦人会	午前	10:00 ~	
中高生クラス	午後	5:30	
祈り会	午後	7:30 ~	
土曜日			
聖書の学び会	午後	3:00 ~	
聖書の学び会	午後	7:30 ~	



恵みあるうちに



長岡キリスト恵み教会だより第126号
(2023年3月発行)

他人のために命を捨てた宣教師

一九五四年九月二六日一八時三〇分頃、函館と青森を結ぶ連絡船「洞爺丸」が約一三〇〇人を乗せ、台風一五号の接近する中で函館港を出航しました。船は約四時間後の二二時四五分に沈没し、死者・行方不明者合わせて千百五十五人におよぶ、日本海難史上最悪の事故となりました。

この船に、カナダ人のアルフレッド・ストーン宣教師(五二歳)とアメリカ人のデイン・リーパー宣教師(三三歳)が乗っていました。

だれもが死の恐怖に襲われ絶望する中、二人は泣き叫ぶ乗客を励まし、救命胴衣を着用するのを助けました。最後に救命胴衣の足りないことがわかると、自分たちの救命胴衣まで若者と子どもに与えてしまいました。

後日、救命胴衣のない二人の宣教師の遺体が発見されました。また台風の荒波の中では、ほとんどの人が救命胴衣を着ていても助かりませんでした。彼らの救命胴衣をもらった若者と子どもは奇跡的に助かりました。助かった人々によると、宣教師は「あなたは死んでも天国に行けますか?」と問いかけた後、自分たちの救命胴衣を渡してくれたという話でした。

二人の宣教師はキリストを信じていました。その結果、死の恐怖に打ち勝つ救いと希望を持っていたので、このようなことができたのです。では、彼らは何を信じていたのでしょうか?

当教会は、エホバの証人、統一協会、モルモン教会などは違い、聖書だけから学ぶキリスト教会です。これらの団体でお悩みの方、その違いをお知りになりたい方はぜひご連絡下さい。

当教会では、以下の物を無料でプレゼントしています。ご希望の方は、表の通信欄にその旨をご記入の上ご返送ください。

◎新約聖書ヨハネの福音書

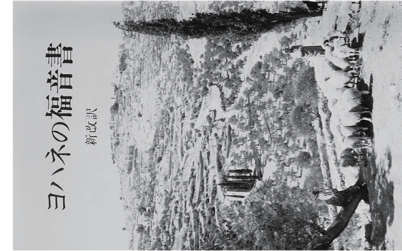
世界のベストセラーである聖書の中からヨハネ伝だけを分冊にしたものです

A 6版 60頁

◎福音

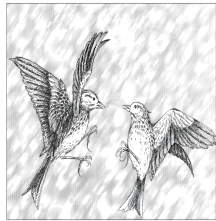
神様が聖書を通して語られている福音(良き訪れ)をわかりやすくまとめた小冊子

B 6版 23頁



① 神の存在

「はじめに神が天と地を創造された。」
 (創世記一章一節)
 この世界には驚くべきデザインや仕組みがあります。それらのすべては、創造主である神によって造られました。



② 地獄の実在

「いのちの書に記されていない者はみな、火の池に投げ込まれた。」
 (黙示録二〇章一五節)
 神が本当に存在される以上、神のおられる天国は本当に存在します。そして、神が罪を裁く場所である地獄も本当に存在します。

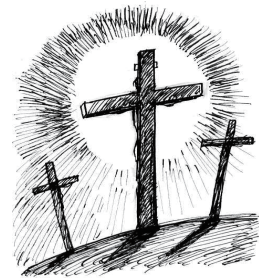
③ 人間に死後

待ち受けていること
 「義人はいない。一人もない」
 (ローマ三章一〇節)
 「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」
 (ヘブル九章二七節)
 完全に正しい神の前では全人類が有罪です。人はみな例外なく、死後に神によって裁かれて永遠の地獄へ行くべき罪人なのです。

④ 唯一の救い主キリスト

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」
 (ヨハネ三章一六節)

神の御子であるイエス・キリストが、私たち罪人の身代わりとなって十字架で死なれました。ご自分の命を犠牲にして、私たちの身代わりにより罪の刑罰を受けてくださったのです。そして死後三日目に死の力を打ち破り復活されました。復活によって、ご自身が神であることと、罪人のための救いが完成したことを証明されました。



ですから、誰でも神の前で自分の罪を認めてキリストを信じるなら、直ちに罪が赦され永遠のいのちが与えられます。キリストを信じた人は、決して地獄に行くことはなく、確実に永遠の天国に入ることができます。

あの一人の宣教師は、人間の作った救命胴衣を手放しましたが、彼らには、神の救命具があったのです。イエス・キリストを信じ、永遠のいのちを手に入れていたのです。永遠のいのちを持っている人は、たとえ体が死んでも、死の大波を乗り越えて確実に天国に迎えられるのです。彼らは自分たちが天国に行けることを確信していたので、死を前にしても平安であり、見ず知らずの他人を救うために命を投げ出すことができたのです。

あなたは死の大波を乗り越えることができますか？

洞爺丸に乗船していた、一等客室の人も、二等客室や三等客室の人も、みな等しく嵐に飲み込まれたように、身分の違いや貧富の差に関係なく、すべての人が死の大波に飲み込まれる時が来ます。

あなたは、この非常に大きな「死」という大波を乗り越えるための救命具をお持ちでしょうか？



多くの人が、お金、教育や知識、資格や技術、宗教などを人生の救命具にしています。確かにそれらの救命具で、人生の様々な試練の波を乗り越えることができるかもしれませんが、しかし最後に待っている死の大波の前では、そのような救命具はまったく無力なのです。

もしもあなたが神を認めず、死後の永遠を無視して地上だけの幸せを求めておられるなら、やがて死の大波があなたからすべてを奪うことになるのです。どうかすべてを失う前に、これまでの神に対する態度を改めて、イエス・キリストを信じて下さい。この御方を信じるなら、死に打ち勝つ命が与えられ、あなたも永遠の天国に入ることができます。

神の御子の尊い犠牲によって備えられた救いを、どうか心を開いて受け取ってください。

「御子を信じる者は永遠のいのちを持つているが、御子に聞き従わない者はいのちを見ることがなく、神の怒りがその上にとどまる。」
 (ヨハネ三章三六節)

「主に帰れ。

そうすれば、主はあわれんでくださる。

私たちの神に帰れ。

豊かに赦してくださるから。」

聖書 (イザヤ書 55 章 7 節)



長岡キリスト恵み教会

長岡京市長岡 1 丁目 2-1-6
 TEL/FAX 075-1955-4582
 ホームページ
<http://megumi-church.com/nagaoka>



郵便はがき

617-0823

お手数ですが
 が 63 円切
 手を貼って
 ください。

長岡京市長岡 1 丁目 2-1-6

長岡キリスト恵み教会 行

お名前 (ふりがな) ■ 年齢

ご住所 〒

お電話 ■ 職業

1. 聖書に関する読み物を送ってください。
 2. 詳しい話が聞きたいので、連絡して下さい。
 (電話・訪問 曜日 時ごろ)
- ご希望のところに○印をつけてお送りください。
 —すべて無料です—

ご意見・ご感想 通信欄